

8月定例記者会見会議録

2019（令和元）年8月5日（月）午後2時～
市役所本庁4階 406会議室

1. 市長からの発表

8月に入り、いよいよ夏本番となりました。先日も草引きをして倒れた方がおりました。厳しい暑さが続くと思いますので、熱中症にはくれぐれもご注意いただきますようお願いいたします。

まずはイベントのお知らせが2件ございます。いずれも先にお知らせしたものです。

一つ目は、ライトアップイベント「お城のまわり」です。資料のとおりチラシ・ポスターが出来上がりました。8月10日（土）と11日（日）の2日間の開催で、約2,000個の竹灯りが上野公園と周辺施設において真夏の夜を彩ります。現在、竹の加工作業が伊賀上野武道場で進められています。

10日と11日は、竹灯りを楽しみにぜひお誘いあわせのうえ、お越しください。

もう一つは、伊賀市制施行15周年記念事業、テレビ番組「開運なんでも鑑定団 出張なんでも鑑定団 in 伊賀」の公開収録についてです。現在、番組内で鑑定いただく「お宝」の募集をしており、既に30品ほどの「お宝」を応募いただいています。応募締め切りは8月30日ですので、多くの皆さんからの応募をお待ちしています。時代・ジャンルを問わず「なんでも」応募いただけます。皆さんのとっておきの「お宝」が当日どのような鑑定を受けるのか、私も楽しみにしています。

併せて、観覧募集も9月30日まで行っていますので多くの方にご応募いただきたいと思います。

本日の私からの発表は、3つあります。

まず、資料No.1の「伊賀市まちづくりアンケート・市民意識調査の調査結果について」です。

2014年度（平成26年度）から概ね10年先を見据えて伊賀市総合計画を策定し、策定時からの第1次再生計画が終了して、2017年度（平成29年度）から4年間の第2次再生計画を進めております。

この計画では、それぞれの施策について、市民の皆さんや地域・各種団体の皆さんと一緒に取り組みを進めることとしています。

そこで、市民の皆さんが普段の生活で感じられていることをお聞かせいただき、今後の伊賀市のまちづくりの参考とするために、例年、伊賀市まちづくりアンケート・市民意識調査を行い、各施策に対する「満足度」「参画度」「今後

の重要度」等を取りまとめております。

お配りした資料は、広報いが市8月1日号の特集記事の内容となっており、アンケート結果の一部を掲載しています。

この中で、「今の所に将来も住みたいですか」の質問に対して、今の所に「将来も住みたい」「できれば住みたい」と思う人が75%を超えています。また、「伊賀市は住み心地が良いか」の質問に対して、「はい」「どちらかといえばはい」と思う人が約70%で、その中でも18歳から29歳の世代の80%近い人が「はい」「どちらかといえばはい」という若年層で割合が高い結果となっています。

伊賀市において人口減少が進む中、伊賀市は住みやすく、定住意識が高い地域であることがわかります。

しかし、市政への参加意欲については、「いいえ」「どちらかといえばいいえ」と答え参加意欲の低い人が「関心がない」を含め75%となっています。市政が自分たちのことであるという認識を持っていただけるような情報発信に努める必要があります。

今後も市民の皆さんが、さらに「住み心地の良い伊賀市」を実感できるよう取り組んでいきます。

また、今回のアンケート結果は、全庁で共有し、各施策の取り組みの参考にしていきます。

なお、アンケートを取りまとめた結果は、伊賀市ホームページに掲載しております。

つづいて、資料No.2の「みんなを活かす男性リーダー養成連続講座の第3期生募集について」です。

自らも性別にとらわれず、あらゆる分野に参画し、人生をもっと楽しく、自立して自分らしく生きていくためのヒントを学ぶと共に男女共同参画を進めるために、いきいきと活躍し頑張る女性に助言したり応援できる男性リーダーの育成を目的とし、みんなを活かす男性リーダー養成連続講座「こんな男がいてもいいじゃないか塾」を開催します。

今年度で3年目を迎えます。10月1日から2月18日の間に2回の調理実習を含む全5回連続講座です。

これまで、33人が修了認定を受け、受講生からは、「自分のために共同参画の認識・知識を深められてためになった。」や「男女の立場を改めて考える場になった。」などのご意見がありました。男性の皆さん、奮ってお申込みください。

つづいて、資料No.3の「三井アウトレットパーク滋賀竜王 観光PRイベントの開催について」です。

「日本遺産 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会」普及啓発事業のPRイベントを8月31日（土）と翌日の9月1日（日）の2日間、午前10時から午後5時まで、三井アウトレットパーク滋賀竜王の南モール1階センターコートにて開催します。

今回は、ステージイベントとして、伊賀之忍者衆「羅威堂(らいどう)」の忍者ショーやゆるキャラショーを行うほか、手裏剣打ちや忍者衣装替えなどの体験ブースも出展します。

また、今年は、アウトレットパーク内に忍者マネキンを設置したり、一部の店員が忍者衣装を着用して、イベントのPRや伊賀市・甲賀市の観光をPRします。

ぜひ、三井アウトレットパーク滋賀竜王へ出かけ、忍者を探しながら、ショッピングを楽しんでみてはいかがでしょうか。

私からの発表は以上です。

主な質疑応答

【三井アウトレットパーク滋賀竜王 観光PRイベントの開催について】

（「忍びの里 伊賀・甲賀—リアル忍者を求めて」日本遺産認定後の現状）

記者：「日本遺産忍びの里」というのは何年に受け入れた（認定された）のですか。

市長：平成29年度です。

記者：最初に目指していたものはどのようなイメージで、現在進捗状況はどうで、今後どんなふうにしたいですか。

市長：最初は、つまり忍者文化ということで、ファンタジーに取られがちなこの忍者、忍術というものをしっかりとしたソース（情報源）ですとか、エビデンス（証拠・根拠）に基づいたものとして学問の世界からもアプローチして、しっかりと検証し、そしてそれを観光面や、あるいは様々な生活、地域経済に活かしていくということですね。

伊賀だけではなく甲賀と共に文化庁に申請をしたということです。

現在は、そういう意味では伊賀・甲賀の連携というのは大変上手くいっていると思います。ただ課題は、更にその連携をしっかりと一つの商品造成をすとか、あるいは他地域との連携、ルート設定をすとかそういうことが喫緊の課題になってくると思います。つまりインバウンド対応とかではないと思っています。

記者：要するに、おっしゃっている内容はまったくできていないということですか。こういうアウトレットのイベントなどもあるのでしょうけれども。

市長：まったくできていないということではないです。

要は、常に羽ばたいていないといけないということです。日本中で伊賀市だけが、忍者文化であればよいのですが、最近は、(忍者などを)言ったもの勝ちみたいになるところがあります。しかし、伊賀・甲賀というのは忍者の聖地として他には真似のできないところがあります。そうしたことをしっかりと訴えていくということは、対外的な関係性の中で必要なことで、出来ていないということではなく、やることもやり、それからしっかりと先も見据えていくということになろうかなと思います。

記者：当面何かアイデアは。商品化とか。

市長：商品造成を今考えています。

2. 8月の主な行事予定

(1) 「2019年度 郷土の歴史夜咄(よばなし)会 其の17」の開催

日時 8月9日(金) 午後6時～午後7時30分

場所 伊賀市上野図書館 2階視聴覚室

内容 テーマ 「ハシモト病の発見者 橋本 策」

講師 地域誌「伊賀百筆」編集長 北出 楯夫 氏

担当 教育委員会 上野図書館 (電話 0595-21-6868)

(2) 伊賀市本庁舎市民ミニギャラリーの開催(8月の展示)

日時 8月2日(金)～29日(木) 午前8時30分～午後5時15分

場所 伊賀市本庁舎4階吹き抜け西側の壁面

内容 チャーチル会上野による絵画作品14点(油彩・水彩画)

担当 企画振興部 文化交流課 (電話 0595-22-9621)

(3) 「2019年8月 寺田市民館 じんけんパネル展」の開催

日時 8月1日(木)～29日(木) 午前9時～午後5時

※平日のみ

※6日(火)・20日(火)は午後7時30分まで延長

場所 寺田教育集会所 第1学習室(伊賀市寺田225番地)

内容 「沖縄戦」

担当 人権生活環境部 同和課 寺田市民館 (電話 0595-23-8728)

- (4)「2019年8月 いがまち人権センターパネル展」の開催
日 時 8月1日(木)～22日(木) 午前9時～午後5時
※平日のみ
※1日(木)・8日(木)は午後7時30分まで延長
場 所 いがまち人権センターホール(伊賀市柘植町8898番地)
内 容 「原爆と人間」
担 当 人権生活環境部 同和課 いがまち人権センター
(電話 0595-45-4482)

- (5)子育て広場「にんにんパーク」事業の開催
日 時 8月11日(日)・9月8日(日)
午前10時～午前11時30分
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内
(伊賀市ゆめが丘七丁目13番地)
内 容 8月11日(日)「水遊びの術を楽しもう！」
9月 8日(日)「忍者になりきりの術」
担 当 健康福祉部 こども未来課(電話 0595-22-9665)

3. その他

主な質疑応答

【ラウンドアバウト交差点の整備について】

記 者：伊賀市にラウンドアバウト交差点の管理や整備を委ねられていると伺ったのですが、今後の整備はどのような予定になっていますか

市 長：8月1日からは伊賀市の管轄に移管されております。あの交差点は警察の方では、「ラウンドアバウト交差点」ということで、既に認定済みです。しかし、施設としては仮設状態です。今後、効果検証という意味で地元報告会、もしくはシンポジウムになるかもしれませんが、次年度予算で、正式に一部を少し本来の計画のようなサイズを大きくして整備をするというようなことになろうかと思えます。

この交差点が、ラウンドアバウトになる前の平面交差していました時には、人身事故が9件ありましたが、ラウンドアバウトになってからは1件もないということです。事故といえるのが微妙ですが、トラックが横の柵をひっかけたというのがありますが、人身事故は1件もありませんので、そういう意味では今後の検証に大きなひとつの成果になると思えます。

記 者：次年度の予定はいかがですか。

市 長：用地買収などがありますので、予算を上げていくことになります。

記 者：補正予算で今年度中に対応するということは考えられないですか。

市 長：補正予算というよりも、当初予算ですね。その間に、検証報告会、シンポジウム、それから用地買収等も含めたタイムスケジュールというものができて、その段取りに従って進んでいくということになります。

【上野総合市民病院事務部長の後任について】

記 者：事務部長死亡後の、後任はどうなっていますか。

市 長：今の病院の体制を再生させたというのは、彼の力量によるところが大変大きいので、私達としても大変衝撃を受けているところです。せっかく医師の確保であるとか、あるいは黒字経営が目前に迫ってきた中で、大きな痛手になったと思います。それだけに、一日も早くしっかりした後継者を迎えたいと思っております。

記 者：今のところ空席ですか。

市 長：空席です。

記 者：どなたか部長級で迎えようということですか。

市 長：多分、外部からですね。やはり、プロパー職でないとこれは出来ないと思います。

記 者：決まったら部長職なので、速やかに発表をお願いします。

市 長：はい。